

西原龜三文書

才一冊

一、日記

1. 日記 明治三十九年

2. 日記 明治四十三年

3. 日記 明治四十五年

4. 日記 大正二年

才二冊

5. 日記 大正三年

6. 日記 大正四年

7. 日記 大正五年

才三冊

8. 日記 大正六年

9. 日記 大正七年

才四冊

10. 日記 大正八年

11. 日記 大正九年

12. 日記 大正十年

13. 日記 大正十一年

才五冊

14. 日記 大正十二年

15. 日記 大正十三年

16. 日記 大正十四年

才六冊

17. 日記

大正十五年

18. 日記

昭和二年

19. 日記

昭和三年

20. 日記

昭和四年

21. 日記

昭和五年

才七冊

22. 日記

昭和六年

23. 日記

昭和七年

24. 日記

昭和八年

才八冊

25. 日記

昭和九年

26. 日記

昭和十年

27. 日記

昭和十一年

才九冊

28. 日記

昭和十二年

29. 日記

昭和十三年(一)

30. 日記

昭和十三年(二)

才一〇冊

31. 日記

昭和十四年

32. 日記

昭和十七年

33. 日記

昭和十八年

34. 日記

昭和十九年

才一一冊

35. 日記

大正六年 自一月一日至六月六日

36. 日記 大正六年自六月八日至十二月末

37. 日記 大正五年

38. 日記 大正七年自一月一日至五月廿八日

39. 日記 大正七年自五月廿九日至十二月廿一日

才一二冊

二書翰

野田平治郎 書翰

西村正則 “ ”

永井米蔵 “ ”

望月龍太郎 “ ”

那須淨説 “ ”

砂野米蔵 “ ”

那須淨説 “ ”

若松鬼三郎 “ ”

神谷卓男 書翰

西村正則 “ ”

小林胖生 “ ”

吳 榮根 “ ”

西村治兵衛 “ ”

高田三六 “ ”

李 容翊 “ ”

高田三六 “ ”

石原半右衛門 “ ”

吳 榮根 “ ”

趙 晉奎 “ ”

松井常三郎 “ ”

砂野米蔵 “ ”

西原龜三 覺書

露語書翰

児玉秀雄	書翰
繁野陳城	〃
大谷誠夫	〃
清水文之輔	〃
神鞭	〃
岡正美	〃
永見寛二	〃
土子金五郎	〃
小川平吉	〃
土子金五郎	〃
榊山資英	〃
永見寛二	〃
ラドイギン	〃
榊山資英	〃
児玉秀雄	〃
長尾良吉	書翰
勝田主計	〃
小原新三	〃
上島長久	〃
淡沢栄一	〃
竹内赳夫	〃
波多野鶴吉	〃
韓国内旅行証明書	
山座内次郎	書翰
李容翊	〃
日置默仙	〃
松岡由三郎	〃
本庄彝	〃
西原光太郎	〃
対馬健之助	〃

中村忠兵衛書翰

中江丑吉 “ ”

竹沢徳蔵 “ ”

田村敏雄 “ ”

宇佐美勝天 “ ”

吉田節太郎 “ ”

金子元三郎 “ ”

関実 “ ”

石川舜台 “ ”

松本剛吉 “ ”

伊藤忠三 “ ”

田中彦右衛門 “ ”

丸山正雄 “ ”

若槻礼次郎 “ ”

水野錬太郎 “ ”

添田寿一書翰

今川仙之助 “ ”

吉牧俊治 “ ”

下村寿一 “ ”

日本大学図書館 “ ”

芦田安兵衛 “ ”

江庸 “ ”

岡野久胤 “ ”

今安直蔵 “ ”

角田他十郎 “ ”

小松緑 “ ”

梶村宇作 “ ”

井上常蔵 “ ”

上原怒助 “ ”

床次竹二郎 “ ”

日本大学図書館書翰

大竹貫一 “ “ “

青木信光 “ “ “

武藤山治 “ “ “

黒田英雄 “ “ “

才一三冊

坂西利八郎 書翰

才一四冊

福田中将 書翰

平井 “ “ “

本多熊太郎 “ “ “

石川舜台 “ “ “

稲田周之助 “ “ “

上山満之進 書翰

小林丑三郎 “ “ “

児玉秀雄 “ “ “

前田利定 “ “ “

向井巖 “ “ “

村田俊彦 “ “ “

中野二郎 “ “ “

布川孫一 “ “ “

大石正巳 “ “ “

齊藤季次郎 “ “ “

勝田玄計 “ “ “

寺内正毅 “ “ “

東郷 安 “ “ “

白井 哲夫 “ “ “

坂西利八郎

臼井哲夫書翰

山田春三

小松 緑

李 十一

曹 汝霖

李 沢一

陸 世芬

章 宗祥

章 宗祥

藤 原正文

西 原 亀三

北京政変卜将来

電報写

借款仮契約案

西原 亀三意見

覚書

西原 亀三意見

西原 亀三電報案

藤原正文書翰

電報

曹汝霖書翰

児玉秀雄

才一五冊

阿部 充家書翰

有賀 長文

赤木 公雄

坂西 利八郎

土肥 原賢二

藤村 義朗

福島昌夫書翰

副島道正

福島昌夫

後藤新

荻原丈夫

林權助

林敏雄

本多要

本庄繁

伊藤長七

井上延茂

井上穩

井上延茂

池田成彬

柿木寸鉄

加藤敬三郎書翰

川島清治郎

児玉秀雄

今井鷹之助

高山主事

松岡俊三

松本剛吉

水卷藤吉

武藤山治

西沢之助

白岩龍平

白須宗吉

白須重右衛門

田中常寛

竹中多計吉 書翰
吉村禪雄 “ ”
高山党太 “ ”

才一六冊

高山党太 書翰
殿村茂樹 “ ”
津島寿一 “ ”
宇垣一成 “ ”
渡辺瑳美 “ ”
山本条太郎 “ ”
山本三省 “ ”
李種植 “ ”
朴準鎬 “ ”
後田谷五郎 “ ”

弥永義信 書翰

志立鉄次郎 “ ”
權作茂吉 “ ”
朽木綱貞 “ ”
中川小十郎 “ ”
西原亀三 “ ”

才一七冊

青柳栄司 書翰

浅田徳則 “ ”
福原俊丸 “ ”
二荒芳徳 “ ”
藤田次郎 “ ”
芳賀文三 “ ”
鳩山一郎 “ ”

原田金之祐書翰

服部直頼

本庄 彝

林 敏雄

林田 操

本多熊一郎

池田長康

市来乙彦

井上敬次郎

石黒忠篤

入沢達吉

春日俊文

児玉秀雄

小菅丹治

今松泊郎

栗原鷹丸書翰

宮本憲象

向井 巖

宗像宗吉

武藤山治

永井柳太郎

中垣春二

中島鎮二郎

中山二郎

仁尾惟茂

布川孫市

大石正己

岡崎邦輔

尾崎行雄

岡田良平

大森佳一書翰

佐竹義準““

斯波忠三郎““

下中弥三郎““

園田三次郎““

末広重雄““

杉村陽太郎““

田中都吉““

寺内寿一““

暉峻義等““

富田幸次郎““

津田信吾““

殖田俊吉““

植原悦二郎““

宇垣一成““

宇佐川一正書翰

渡辺瑳美““

山田春三““

米田富““

四方田義茂““

中川小十郎““

山内元峰““

陸鍾允““

雀麟““

才一八冊

坂西利八郎書翰

今松治郎““

鳩山一郎““

金井清““

小泉吉雄書翰

茅原華山

最上政三

西原龜三

中井光次

中江丑吉

岡田技師

鈴木登

鈴江言一

砂田重政

高松宮

堤康次郎

田村敏雄

滝上視学

風見章

渡辺瑳美書翰

李擇一

許世英

君孝定

中華民國赴日經濟考察団

朴重陽

亞細亞製糖興業株式会社趣意書

三月事件二付覚

才一九冊

安藤万吉書翰

馬場義興

西原龜三

藤原正文

林權助

平井清二郎 書翰

平田東助 “ ”

本庄繁 “ ”

細井肇 “ ”

市来乙彦 “ ”

池田成彬 “ ”

石黒忠篤 “ ”

石川舜台 “ ”

井上延義 “ ”

神田正雄 “ ”

神谷卓雄 “ ”

神谷忠雄 “ ”

神谷卓男 “ ”

金子元三郎 “ ”

熊本利平 “ ”

久納誠一 書翰

工藤鉄三郎 “ ”

畔田明 “ ”

木村雄次 “ ”

猶崎觀一 “ ”

武藤山治 “ ”

本野一郎 “ ”

三島弥太郎 “ ”

中川小十郎 “ ”

中野二郎 “ ”

才二〇冊

中村忠兵衛 書翰

中野二郎 “ ”

那須皓 “ ”

野田大塊書翰

西原龜三

岡田良平

大石正巳

岡常夫

尾崎行雄

大島健一

斎藤季治郎

志田鉄次郎

鈴木穆

勝田立計

田村敏雄

床次竹二郎

植原悦二郎

宇垣一成

上島長久書翰

渡辺瑳美

渡瀬二郎

山田春三

吉見内蔵

芳沢謙吉

桜井轍三

沈宣昇

崔麟

沈観新

陸宗輿

袁良

章宗祥

段祺瑞

梁士詒

李宣韓書翰

袁良

北京來電 (藤原榮)

來電綴

電報綴

才二一冊

坂西利八郎書翰

才二二冊

三、書類 I

1. 寺内伯簡札 (諸家題言)

2. 日支親善卜其事業ニ関スル附属書覽書並ニ協定案

3. 孫宝琦、梁士詒、沈瑞麟、黃郛、王正廷、屈映光ヲ代表セル

袁良氏信書及其訳文

4. 日支親善具体化ノ最后ノ努力当時ノ書翰寫

大正七年夏

西原龜三

才二三冊

三、書類 II

5. 山東省ニ於ケル革命党卜日本人

6. 支那関稅問題卜日本

7. 寺内内閣成立後ニ箇年ニ於ケル財政經濟方策並施設概要

大正七年九月

8. 大正外交關係雜件

(一) 滿蒙ニ於ケル蒙古軍並宗社党卜日本軍

(二) 滿鐵対北京政府關係改善私見

(三) 建白書寫 西原龜三

(四) 滿州ニ於ケル日露實勢ノ比較概評

(五) 極東露領ニ於ケル朝鮮銀行營業狀況

- (六) 乙丑十二月十七日袁良君ニ于テル書翰原稿 西原電三
- (七) 对南税會議方針

才二四冊

三、書類Ⅲ

9. 朝鮮時代諸案並ニ諸控

- (一) 植民獎勵ト植民機關
- (二) 露国小麦粉朝鮮移入ニ関スル記録
- (三) 商人ノ本旨
- (四) 日韓清連絡輸送開始願
- (五) 經濟界ノ現状ニ対スル私見
- (六) 治韓施設私考
- (七) 施政改善ニ対スル希望
- (八) 五件条約締結始末記文
- (九) 治韓策

- (一〇) 鐵道ニ于テル对滿貿易發展策ニ関スル意見書
- (一一) 韓国又富開港ト穀
- (一二) 韓国穀類輸出改善意見概要
- (一三) 日露ノ經濟的接近ト滿蒙開港ニ対スル意見書
- (一四) 朝鮮ニ於ケル經濟ノ調節ト溫業
- (一五) 滿州ニ於ケル通貨統一ト日鮮滿貿易發展策
- (一六) 滿州ニ於ケル日露實勢ノ比較概評
- (一七) 日露ノ經濟的契合實蹟ニ対スル希望
- (一八) 滿州輸出朝鮮紙ノ改良並ニ輸出獎勵ニ就キ意見書
- (一九) 滿州栗鐵道輸送計畫ニ就キ意見書
- (二〇) 朝鮮米ノ現在及ヒ将来
- (二一) 綿布糸移入低利資金ニ付御願
- (二二) 牛皮ノ改良ト屠場ノ統一及施設私見
- (二三) 滿鮮經濟ノ調節ト朝鮮ニ於ケル不足食料品充足ニ対スル意見書
- (二四) 支那及北滿ニ対スル經濟的連鎖實蹟ニ資スル私見

- (二五) 朝鮮大豆鉄道連絡輸送特約ノ成績
- (二六) 満州需要綿糸布ノ現況ト将来
- (二七) 朝鮮米移輸出計画案
- (二八) 覚書

才二五冊

三、書類IV

- 9. 朝鮮時代諸案並ニ諸控(統)
- (二九) 日本綿糸布満州輸出組合規約
- (三〇) 東亞共同経済機関設立案
- (三一) 小麦粉調査復命書
- (三二) 満州綿糸布貿易実勢調査報告
- (三三) 経済界ノ現狀ニ対スル私見
- (三四) 山東省ニ於ケル革命軍並ニ青錢買ノ既往及現狀
- (三五) 朝鮮米移輸出計画案

- (三六) 株式会社共益社定款
- (三七) 株式会社共益社設立目論見書
- (三八) 満鮮経済ノ混一調節ト朝鮮ニ於ケル不足食料品充足ニ対スル意見書
- (三九) 欧州時局ノ急転ニ伴フ経済的対支那経営私見
- (四〇) 満州ニ於ケル日露勢力ノ比較概評
- (四一) 満州ニ於テル通貨統一ト日鮮滿貿易發展策
- (四二) 韓国統監府焦眉処理事件ニ関スル希望
- (四三) 時局ニ応スル対支経済的施設ノ要綱
- (四四) 鉄道ニ関ル対滿貿易發展策ニ関スル意見書
- (四五) 官塩販売計画
- (四六) 朝鮮米移輸出計画案
- (四七) 馬場精米所整理並ニ経営案
- (四八) 朝鮮ニ於ケル経済ノ調節ト塩業

10. 国政更新同盟 日談及記録

- (一) 日誌 大正十四年
- (二) 日誌 大正十五年
- (三) 記録 大正十四年
- (四) 記録 大正十五年
- (五) 記録 昭和二年一月、四月

才二六冊

三書類 V

- 11. 国策研究会日記
 - (一) 日記 昭和二年
 - (二) 日記 昭和三年
- 12. 「東亜研究会」日記
 - (一) 日記 大正十五年
 - (二) 日記 昭和二年
- 13. 東亜研究会会員名簿 大正十四年

- 14. 北丹復興後援会 日誌及記録 昭和二年
- 15. やまと新聞復興計画一件書類

才二七冊

三書類 VI

- 16. 富田勇太郎君の欧米所見・砂田重政君の政友会政務調査会主張
 - (一) 政務調査会長挨拶
 - (二) 米國に關する話

- 17. 国策研究会及国政更新同盟関係資料

- (一) 震害復興策
- (二) 臨時帝國産業會議開催ノ必要
- (三) 華盛頓會議に就ての勸告
- (四) 欧州大戦間外交ニ關スル諸件
- (五) 国策研究会会則 他
- (六) 帝國經濟復興會議設置に關する建議

18. 東亜研究会関係資料

- (一) 支那問題解決案
- (二) 对支問題綱要
- (三) 京阪神実業家協定
- (四) 関税会議ノ对策ニ関スル質疑二則
- (五) 梁士詔氏ノ時局ニ対スル意見
- (六) 支那関税沿革
- (七) 支那問題对案
- (八) 華府會議関税分科会ニ於ける支那側顧問委員ノ提案

19. 諸提案 その他

- (一) 支那稅權法權恢復問題ニ対する意見
- (二) 排外的暴行に依る損害賠償ニ対する希望決議
- (三) 对支問題の講究
- (四) 巴里媾和會議ニ支那全權ノ提出セル解決ヲ要スル諸問題
- (五) 支那の赤禍
- (六) 支那問題对案 東亜研究会
- (七) 日支関税私案

才二八冊

三、書類 Ⅳ

19. 諸提案 その他 (続)

- (八) 混乱の経済界に処シ金融機関整理並に国民預金安定に關する
方策概要
- (九) 国防充實と国民經濟調整との不可分論
- (一〇) 国民思想の涵養に資する目的を以て武家華族の本貫地歸
任 建白書
- (二) 国運發展ノ要諦
- (三) 金本位制維持对案
- (三) 農村經濟改善要綱案
- (四) トイツ「ナチス」党

- (五) 意見書
- (六) 独逸ノ政変ト其影響
- (七) 覚書
- (八) 雲原村熱血ノ塊
- (九) 外交部会報告書
- (一〇) 西伯利興業株式会社創設趣意書
- (一一) 過激派の告白
- (一二) 朝鮮貿易及朝鮮内地商業ノ趨向
- (一三) 東洋畜産興業株式会社現況
- (一四) 内治方策ノ要訣
- (一五) 国運展用ノ要諦

オ二九冊

三、書類 Ⅳ

20、宇垣内閣流産記録 その他

- (一) 電報往復控
 - (二) 画像記
 - (三) 世界恒久平和策の提唱
 - (四) 経済立国主義
 - (五) 非常時局に対する善処策施設要領
 - (六) 非常時局に対する善処策基本要領
 - (七) 農村実情に迂濶なる生活必需品の配給統制と農村労力の徒労化に対する是正所見
 - (八) 国本樹立の要約
 - (九) 皇国農村創建計画に対し三省を要望す
- 21、帝都復興審議会に於ける大石正巳氏の主唱せる提論
- (一) 大石宛西原電三書翰
 - (二) 復興事業に關聯する国防の正面觀
- 22、西原里仁会関係書類
- (一) 財団法人西原里仁会

(二) 西原里仁会設立の趣旨目的
23. 建議その他

- (一) 滿州財界ノ救済策
- (二) 銀建存続陳情理由書ニ対スル駁論
- (三) 梶原正金頭取演説速記

才三〇冊

三、書類 又

24. 日支親善ト其事業

25. 選挙法改正関係書類

- (一) 懇話会
- (二) 選挙運動費用の制限及びそれに伴う必要事項
- (三) 議会政治の危機
- (四) 選挙廓清ニ関スル当面的施設要旨
- (五) 衆議院議員選挙法中改正法律案修正要項

(六) 衆議院議員選挙法中改正法律案中修正案

26. 寺内元帥遺稿日支親善ト其事業

27. 段軍敗因ノ真相並に防軍将来ニ関スル所見

28. 山東省ニ於ケル革命党ト日本人

- (一) 加藤高明子対支因縁
- (二) 山東省ニ於ケル革命軍並青錢買ノ既往及現状
- (三) 山東省ニ於ケル革命党ト日本人
- (四) 山東省ニ於ケル革命党ト日本人

才三一冊

三、書類 又

29. 大正七年盛夏参考書類及び報告

- (一) 津浦鉄道借款契約書写
- (二) 民国五年厘金実収概表
- (三) 山東鉄道延長意見書

- (四) 三銀行及交通銀行仮契約書
 - (五) 中国電報事業ノ改良及拡張ノ実行ニ就テ
 - (六) 中華民國鉄道敷設法
 - (七) 民国政府中華滙業銀行仮契約書
 - (八) 電信借款要項
 - (九) 中華酸曹株式会社設立要項
 - (一〇) 滑西鉄道借款予備契約
 - (一一) 鉄道會計法
 - (一二) 北支那ニ於ケル米因關係ノ教育及慈善事業
 - (一三) 棉花及羊毛類統計
 - (一四) 滑西鉄道借款予備契約
 - (一五) 梁士詒ノ時局ニ対スル意見
 - (一六) 京阪神実業家協定
 - (一七) 中華滙業銀行契約書類
 - (一八) 吉林天寶銀山關係書類
 - (一九) 京奉鉄道雇外国人表
30. 支那ノ参戦勸誘ノ為ニ本野外相ノ命ニ依リ北京出張當時ノ
往復書翰字
- (一) 大正六年二月一八日〜二五日
 - (二) 大正六年二月一七日〜二七日
 - (三) 大正六年二月二六日〜三月八日
 - (四) 大正六年三月七日〜一四日
 - (五) 大正六年二月一八日〜三月八日

才三二冊

三、書類 XT

31. 大正六年六月段祺瑞總理失脚に方り、座視し難しとして渡支
し、時恰も張勳の復辟となり、斯くて段祺瑞氏再出廬とな
りし際に活動せる発信発電控
32. 支那の参戦問題に基因して紛糾せる支那最近の大問題たる

張勳の復辟当時天津在留中の書類写

- (一) 大正六年六月一日〜三日
- (二) 大正六年六月一日〜四日
- (三) 大正六年六月十九日〜二七日
- (四) 大正六年七月二日〜二五日
- (五) 大正六年七月三日〜七日
- (六) 大正六年七月四日〜二一日

33. 寺内首相の命に基き日支親善の具体化の爲めに北京に使せる

当時の書類写

34. 経済立国主義その他

- (一) 経済立国主義
- (二) 選挙権・選挙区制及選挙運動
- (三) 国民生活安定策要旨
- (四) 税制釐革の概目
- (五) 覚書

才三三冊

四、建築及び意見書等控 I

一、对支政策覚書

- (一) 对支政策ノ要諦
 - (二) 覚書
 - (三) 西原亀三書翰
 - (四) 支那時局偶感 西原亀三
 - (五) 对支借款整理案に就きて
- 又、新政私考、その他

(一) 新政私考 西原亀三

(二) 時局ニ応スル对支経済的施設ノ要綱 西原亀三

(三) 所感 西原亀三

(四) 覚書

(五) 支那関税問題ト日本

(六) 東洋永遠ノ平和策 西原亀三

(七) 戦時経済動員計画私議

西原亀三

(八) 時言

(九) 支那税制整理並に幣制更革概見

(一〇) 中国税制整理並に幣制改革論 西原亀三

3. 新政私考、その他(続)

(一) 世界経済振興策 西原亀三

4. 勝田主計、対支借款ニ就テ、その他

(一) 対支借款ニ就テ 勝田主計

(二) 朝鮮各道主要地商工業者ニ対スル寺内總督ノ演説要旨

(三) 日支親善ト日支経済的提携ニ関スル方策施設概要 旨

5. ヨツフェ来朝関係

(一) 大正一二年五月一日於有楽館「四月二四日後藤氏ヨツフェ氏会談覚書」と共に松平局長に交附せし書

(二) 大正一二年五月一日附五月六日会談
ヨツフェ氏の覚書

(三) 大正一二年五月二三日築地精養軒ホテルに於て
後藤子爵ヨツフェ氏会談記録

(四) 大正一二年五月二日(午後三時)加藤首相に交附したる
非公式日露交渉基礎案 後藤新平

(五) 大正一二年三月二九日附後藤子爵の質問に対する
ヨツフェ氏の答弁

(六) 大正一二年四月九日附商務官交換失敗に関するヨツフェ氏より
の書翰(附カラハン氏務ヨツフェ氏宛電文二通)

(七) 大正一二年四月十日(午後三時半)首相官邸に於て面談口上覚書
附属書類目次

(九) 大正一二年四月二一日附外相よりの書翰

(一〇) 大正一二年四月二一日附内田外相宛書翰

(二) 大正一二年四月二三日附外相に再び質する書

(三) 大正一二年四月二四日熱海ホテルに於てヨツフェ氏及
後藤子爵会談覚書

(三) 大正二年二月一日附小幡公使宛

ヨツ左氏書翰

(四) 大正二年一月二十六日参内務大臣ヨリ上海領事館内在勤ノ

警察官ニ宛タル訓電 二通

(五) 大正二年一月二十九日附ヨツ左氏宛書翰

(六) 大正二年二月四日附首相秘書官ニ宛書翰

(七) 大正二年二月四日附加藤首相宛書翰

(八) 大正二年二月二十六日於海相官邸首相に面談交附せし書

並に追加賞書

(九) 大正二年三月七日附在熱海ヨツ左氏ヨリ後藤子爵に宛てたる

書信

(一〇) 大正二年三月二三日附後藤子爵ヨリヨツ左氏宛返信

(一一) 大正二年三月二十九日及三〇日於熱海後藤子爵ヨツ左氏と会談

の要旨

(一二) 北樺太島の割譲若くは売却を要求するに当りて主張すべき

史学上の論拠

(一三) 日露会商ノ根本義

(一四) 日露合併国際為替会社綱領私案

(一五) 西比利亞企業会社綱領私案

(一六) 日露合併国際為替会社案ニ就テ

(一七) 極東露国ニ於ケル金融問題解決要綱

(一八) 為替兌換券ニ就テ

(一九) 露国ニ於ケル銀行ノ地位及将来ノ方針ニ関スル件 朝鮮銀行

(二〇) 日露通商ノ開始と其ノ關鍵 西原電三

(二一) 日露合併国際為替会社設立案

(二二) 日露会商ノ根本義

才三四冊

四、建築及び意見書等控 II

6. 清浦子一行旅行中支那要人トノ対談摘要録

7. 萬歳事件関係

(一) 萬歳騒動当時の朝鮮人発表書類

(二) 意見書 西原亀三

8. 国策研究会・東亜研究会関係資料

(一) 対外国策樹立ノ必要 添田寿一

(二) 社会綱紀類聚救国救ニ関スル建議

(三) 行政財政整理に關する調査事項

(四) 帝国経済復興會議設置に關する建議

(五) 経済復興の主要題目

(六) 臨時帝国産業會議開催ノ必要並其ノ組織ノ大要

(七) 細目

(八) 決議

(九) 対華府會議問題の国策研究会案の骨子と載せる基本案

(一〇) 福原案として提示せる草案

(一一) 添田氏提案

(一二) 諸氏宣言案

(一三) 対支国策の大綱

(一四) 決議

(一五) 才二回總會報告 東亜研究会

(一六) 東亜時局研究会開會案内

(一七) 懇和会々員名簿

(一八) 対支策申合

(一九) 戦時経済善處の対国民経済整備質疑

(二〇) 動乱の支那 国策研究会

(二一) 帝国対支政策の根本義 佐藤安之助

9. 平田東助宛建議 その他

(一) 平田東助宛建議

(二) 国運変関ノ要諦

(三) 恒久平和ト亜細亞經濟會盟

(四) 非常時局に對する善處策の施設要領

(五) 支那問題對案

才三五册

四、建策及び意見書控 III

10、支那関税特別会議討策ニ対スル意見書

天津日本人商業會議所

11、坂西中将意見書

12、支那關係雜

(一) 陸宗輿・西原覚書

(二) 煙酒公売ニ関スル財政部提供書類

(三) 普通借款ノ件その他

(四) 内蒙古民業公司・蒙古民業銀行關係書類

(五) 覚書

(六) 借款仮契約書

(七) 西比利亜ノ資源開發及露貿易ノ復活ニ関スル施設

(八) 西原・ホーナー會見手記

(九) 日支連絡運輸才四會議議定書

(一〇) 支那無電肉題ニ関スル帝國ノ対策

(一一) 支那開發ニ関スル覚書

(一二) 時言

(一三) 章宗祥致ニ古代トシテ提示セル文書

(一四) 北京政変ト将来

(一五) 東洋永遠ノ平和策

(一六) 電報控

才三六册

四、建策及び意見書等控 IV

12、支那關係雜

(一七) 速成ヲ要スベキ鐵道線路

(一八) 時局ニ応スル對支經濟的相談ノ要綱

(一九) 徐總統ノ退位ト黎元洪出馬ノ経緯

(二〇) 電報寫

- (二) 中華民國幣制改革三案ニ関スル案
- (三) 飛行機借款
- (三) 支那運送取扱業概況
- (四) 支那金本位制ノ確立
- (五) 山東問題解決案
- (六) 賞書
- (七) 曹汝霖其他トノ交渉案件
- (六) 曹汝霖ト取交セル賞書
- (九) 西原・曹汝霖協定原案及關係書類
- (三〇) 山東革命日記
- 13. 張勳復辟前後渡支セル際往復字

才三七冊

- 四、建策及び意見書等控 ▽
- 14. 癸信控

- (一) 木戸侯内大臣持命ニ際シテノ書翰
- (二) 寺内首相宛書翰草稿
- (三) 吾等の進むべき道
- (四) 勝田鮮銀總裁宛書翰草稿
- (五) 对婦人所感
- (六) 大正一四年冬講演筋書
- (七) 昭和四年五月講演原稿
- (八) 昭和三年総選挙時高木候補応援演説草稿
- (九) 新外債
- (一〇) 賞書
- (二) 賞書
- (三) 賞書
- (三) 書翰草稿
- (四) 賞書
- (五) 大綱

- (一六) 覚書
- (一七) 徐世昌宛書翰草稿
- (一八) 勝田蔵相宛書翰草稿
- (一九) 渋沢宛書翰草稿
- (二〇) 寺内首相宛建言草稿
- (二一) 劉宇傑宛書翰草稿
- (二二) 林公使宛書翰草稿
- (二三) 寺内宛書翰草稿

才三八冊

四、建築及意見書等控 丁

14. 發信字

- (二四) 覚書
- (二五) 覚書
- (二六) 大困難ノ現状

- (二七) 大石正巳宛書翰草稿
- (二八) 華族会館ニ於ル演説草稿
- (二九) 東南了ジ了地凶
- (三〇) 国庫歳計増進表
- (三一) 床沢竹二郎宛書翰草稿
- (三二) 坂西利八郎宛書翰草稿
- (三三) 大石正巳訪問記
- (三四) 施設希望の梗概
- (三五) 寺内伯大命降下ノ際進言セル希望
- (三六) 勝田蔵相問題ニ付寺内伯へ建言草稿
- (三七) 松室枢密顧問官宛草稿
- (三八) 沈觀日折宛書翰草稿
- (三九) 林権助宛書翰草稿
- (四〇) 田中首相宛書翰草稿
- (四一) 大綱

- (四二) 田中首相宛書翰草稿
- (四三) 袁良宛書翰草稿
- (四四) 田中政友会總裁宛書翰草稿
- (四五) 平田内府宛書翰草稿
- (四六) 大正維新ノ要諦
- (四七) 貴族院有志会合覚書草案
- (四八) 上嶋長久宛書翰草稿
- (四九) 土方鮮銀總裁宛書翰草稿
- (五〇) 特別費計表
- (五一) 覚書
- (五二) 特別費計表
- (五三) 本山彦一宛書翰草稿
- (五四) 石井外相宛書翰草稿

才三九冊

四、諸家宛意見書並覚書控 VII

- 15. 大正七年五月末渡支當時往復写往復電文字
- 16. 總理進言その他控

- (一) 安藤内相宛進言
 - (二) 徳川頼倫宛進言
 - (三) 内治方策ノ要訣
 - (四) 寺内首相宛進言
 - (五) 産業政策諸題
 - (六) 總理進言
 - (七) 寺内寿一陸相宛進言
 - (八) 總理進言
 - (九) 総髮拳ニ対スル方針
17. 諸家宛意見書並覚書控
- (一) 大正維新ノ要諦
 - (二) 清浦相宛意見書

- (三) 田中陸相宛意見書
- (四) 平田内大臣宛意見書
- (五) 田中大將宛意見書
- (六) 平田内府宛意見書
- (七) 武藤宛意見書
- (八) 大槻宛意見書
- (九) 清浦宛意見書
- (一〇) 平田宛意見書
- (一一) 政治とは何んぞや

才四〇冊

四、建築及び意見書等寸控 四

(三) 賞書

(三) 秋守某宛意見書

(四) 宇垣一成陸相宛意見書

(五) 平田東助宛意見書

(六) 一戸兵衛宛意見書

(七) 山県宛意見書

(八) 河口宛意見書

(九) 有賀宛意見書

(一〇) 寺内首相宛意見書

(一一) 田中義一宛意見書

(一二) 大石正巳宛意見書

(一三) 章仲和宛意見書

(一四) 曹潤田宛意見書

(一五) 平田東助宛意見書

(一六) 宮部宛意見書

(一七) 金子宛意見書

(一八) 国民生活安定策要旨

(一九) 本多熊太郎宛意見書

(三〇) 坂西利八郎宛意見書

(三一) 田中義一宛意見書

(三二) 平田東助宛意見書

(三三) 田中義一宛意見書

(三四) 河内山宛意見書

(三五) 阪谷芳郎宛意見書

(三六) 清浦奎吾宛意見書

(三七) 徳富蘇峰宛意見書

(三八) 長尾良吉宛意見書

(三九) 宛先不明書翰

(四〇) 布川宛意見書

(四一) 田中義一宛意見書

(四二) 章仲和宛意見書

(四三) 金子宛意見書

(四四) 領収証その他

(四五) 宇垣一成宛意見書

(四六) 吉田長官宛意見書

(四七) 紀男爵宛意見書

(四八) 潮恵之輔宛意見書

(四九) 広瀬主計局長宛意見書

(五〇) 紀男爵宛意見書

(五一) 馬場鉄一宛意見書

(五二) 寺内寿一宛意見書

(五三) 馬場鉄一宛意見書

才四一冊

四、建築及び意見書控 下

17. 諸家宛意見書並覚書控

(五四) 長嶺技師宛意見書

(五五) 宛先不明意見書

- (五六) 寺内寿一宛意見書
- (五七) 宇垣一成宛意見書
- (五八) 寺内寿一宛意見書
- (五九) 山崎達之輔宛意見書
- (六〇) 治水根本対策要領
- (六一) 鳩山宛意見書
- (六二) 津島寿一宛意見書
- (六三) 池田成彬宛意見書
- (六四) 宛先不明意見書
- (六五) 宇垣一成宛意見書
- (六六) 馬場鏝一宛意見書
- (六七) 宇垣一成宛意見書
- (六八) 寺内寿一宛意見書
- (六九) 曹潤田宛意見書
- (七〇) 風見 章宛意見書
- (七一) 前田米蔵宛意見書
- (七二) 杉山元宛意見書
- (七三) 風見 章宛意見書
- (七四) 宇垣一成宛意見書
- (七五) 治水根本対策
- (七六) 宇垣一成宛意見書
- (七七) 宛先不明意見書
- (七八) 宇垣一成宛意見書
- (七九) 中野翁伝記編纂会宛立
- (八〇) 宇垣一成宛意見書
- (八一) 小松宛意見書
- (八二) 宛先不明意見書
- (八三) 宇垣一成宛意見書
- (八四) 宛先不明意見書
- (八五) 宇垣一成宛意見書

- (八六) 清浦奎吾宛意見書
- (八七) 宇垣一成宛意見書

才四二冊

四、建策及び意見書等控 又

18. 諸家宛意見書並覚書控(続)

- (一) 宇垣一成宛意見書
- (二) 鳩山宛意見書
- (三) 曹潤田宛書翰
- (四) 馬場銖一宛意見書
- (五) 石渡莊太郎宛意見書
- (六) 津田宛意見書
- (七) 農村窮乏の原因真相
- (八) 昭和一〇年一月一四日北部處女会に於て
- (九) 国民経済の真相と金解禁問題

- (一〇) 永井柳太郎宛意見書
- (一一) 寺内正毅宛意見書
- (一二) 宇垣一成宛意見書
- (一三) 藤岡宛
- (一四) 宇垣一成宛意見書
- (一五) 河合宛意見書
- (一六) 寺内正毅宛意見書
- (一七) 宇垣一成宛意見書
- (一八) 常次遺児引取に付き書面の要矣
- (一九) 宇垣一成宛意見書
- (二〇) 杉山元宛意見書
- (二一) 宇垣一成宛意見書

才四三冊

五、雜件 I

1. 名簿 大正四年一月
2. 芳名簿 大正十二年
3. 人名簿

才四四冊

五、雑件 II

4. パンフレットその他

- (一) 経済立国主義
- (二) 衆議院議員選挙法則改善意見
- (三) 才ニ維新の根本義
- (四) 不景気とは何ぞや
- (五) 経済界安定策
- (六) 景気回復の鍵

才四五冊

五、雑件 III

4. パンフレットその他(続)

- (七) 日本人の生きる道
- (八) 経済自治論策
- (九) 誤れる朝鮮の自治権拡張
- (一〇) 経済維新論
- (一一) 対露政策
- (一二) 国難匡救の一路
- (一三) 蚕糸業の合理化と富国策
- (一四) 日本国民の期待する日華親善
- (一五) 才十六期營業報告書 朝鮮銀行株主姓名表
- (一六) 華盛頓會議と支那問題
- (一七) 災害亡国に直面せる日本
- (一八) 華盛頓會議に就いての勸告

才四六冊

五、雜件 IV

5. 知名記 大正六年十一月再記

6. 西原亀三伝記原稿

才四七冊

五、雜件 V

6. 西原亀三伝記原稿(続)

才四八冊

五、雜件 VI

7. 寺内内閣の外交と国論

8. 「新日本」ほか

(一) 現内閣の対支政策を評す

(二) 通貨並に金融の施設に対する改善策の根本義

(三) 当路の無経綸を糾弾し対支借款の意義に及ぶ

9. 西原借款などに関する新聞評

(一) 新聞切抜

(二) 煙酒借款内面

(三) 滿蒙除外と駐兵費 西原亀三

(四) 財政当局の迷説を排す

(五) 国策の真意義

(六) 対支借款弁疑 西原亀三

(七) 対支借款と日支親善 西原亀三

(八) 神野大蔵次官の通貨收縮弁に就て

(九) 日銀の反省を促す

(一〇) 税制整理問題

(一一) 蔵相の僻説を排す

10. 名刺

11. 雲原村更生誌

第四九册

五、雜件 四

12. 各種原稿

- (一) 日本帝國及國民土臣細亞經濟會盟
- (二) 特定銀行改革論草案
- (三) 意見書草稿
- (四) 根本的物価調節案
- (五) 電報案
- (六) 意見書草稿
- (七) 在外正貨論草稿
- (八) 世界大戰後ノ經濟体制(草稿)
- (九) 日支郵便條約卜樞府

才五〇册

五、雜件 四

12. 各種原稿

- (一〇) 寺内正毅宛意見書
- (二) 小選挙区制意見
- (三) 山東肉題意見
- (三) 吉會鉄道借款交渉經過卜本契約
- (四) 国策意見
- (五) 經濟界安定案